

展望

電力・ガスシステム改革

④

間でトレーディングに精通した人材の獲得競争が生じそうだ。

新技術活用

発電分野について

2016年4月の電力小売り全面自由化や、送配電部門を電力会社から別会社として切り離す「法的分離」が2020年4月に予定される。大手電力会社は、従来の一体型の収支管理から、燃料調達・発電・送配電・小売りの分野別にかじを切っていくと考えられる。

提携相次ぐ

燃料調達について、東京電力ホールディングス、金融派生商品（デリバティブ）を活用した燃料トレーディングなども想定され、金融業界などとの

総括原価方式（規制）	全面自由化後
燃料調達	燃料調達
発電	発電
送配電	送配電
小売り	小売り

札が増加するものが見込まれるが、だろう。工事受注業強化が求められる。ま

後は新規取引や投資など、ベンチャー企業を含む広範な企業に参入のチャンスがありそうだ。

人材獲得競争

一方、電力の小売りは現状、料金メニューが燃料費調整の可能となつてゐる。今後、先物市場の整備などによって電気料金の変動に対するヘッジ手段が充実してくると、固定単価での料金メニューも出てくる

周辺産業の事業戦略に影響



EY Japan
電力・ガスセクター
シニアマネージャー
今井 聡氏

取引する企業の競争に波及し、より広範に影響を与えることになり、送配電分野は、数年間は連系線の整備などで施工力の不足が続く

【筆者情報】いまい・さとし 主に、電力業、半導体製造業、専門商社等の会計監査、日本版SOX効率化支援等のアドバイザリー業務に従事。現在は、電力・ガスセクターに属するクライアントを中心に会計監査を担当。